

夕刊 常磐毎日

発行所 平市町75番
電話 1210番
編集人 吉田 甫
印刷所 吉田 甫

銘菓



御菓子司 松月堂
電話 206番

自動車検査場設置

結論を得ず暗礁に乗あぐ

平市の自動車検査場、試験場は内郷町小島地区の職業補導所を借り設置することに決まっていたが、このほど行われた設置準備委員会の席上、補導所本所長が「同地区は敷地を拡張しなければならぬ」として、設置の延期を要する」と言う発言と一方また市内谷川瀬地区の設置も検討し、設置委員会の意見が二つに別れ二十四日午前十一時から第六回委員会を開催したが結論を得ず、問題は暗礁に乗あぐり、行方不明となっている。

谷川瀬なら最適

どうなるか委員会の動き

委員会に於ける二つの意見というものは、先に決定した内郷町小島地区の職業補導所を借り設置するに決まっていたが、補導所本所長が「同地区は敷地を拡張しなければならぬ」として、設置の延期を要する」と言う発言と一方また市内谷川瀬地区の設置も検討し、設置委員会の意見が二つに別れ二十四日午前十一時から第六回委員会を開催したが結論を得ず、問題は暗礁に乗あぐり、行方不明となっている。

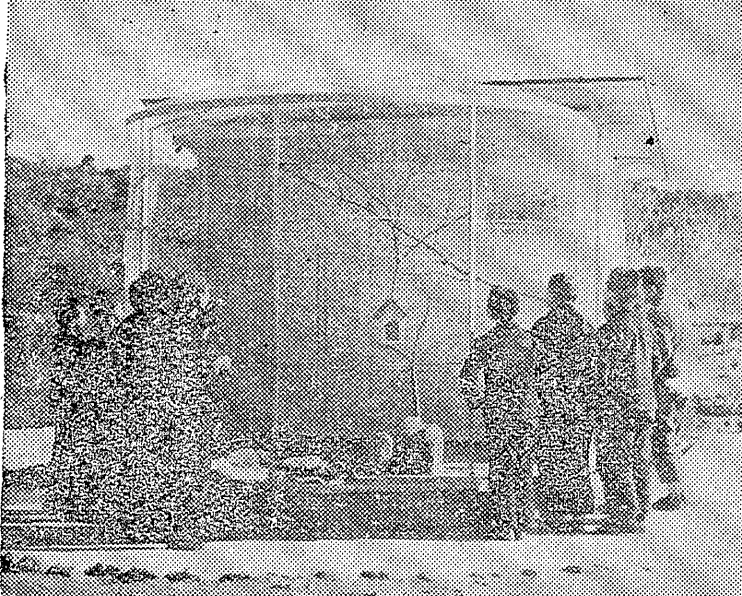
準備委員会

この準備委員会は平市内自家用自動車、運搬車から選ばれた

湯本教養部

三月行事決まる

湯本町教養部は三月行事は三月六日午後六時から開き、青年学級カリキュラム編成と三月行事について協議した結果、カリキュラムは十四日定例会で決める。



鳥園 長倉校で設置

長倉小学校では、この程父兄工を放つて児童たちの手で飼育しているが、地には指輪、よい子から喜ばれている

高坂の金さん

土湯へ見舞金

二十四日午前十一時ころ内郷町高坂字御殿敷金屋金屋さんが同町役場社会係を訪れ、「去る廿二日火で被災した土湯村百十三世帯に届けたい」と見舞金千円を届けられ、町内見舞金第一号と関係者を感涙させた。

常磐教会で

献堂式を挙げる

この教会は四月一日から光の子保育園として不平等の子供の保育機関に開放されることになっているもの、本朝一日から三日間同教会に日本キリスト教の炭酸菌菌師三十名を招いて伝道研究会を開く。

吃音は傳染する

正しい矯正教育法が肝要

那内小中校九十四校、五万九千八百五十六名の児童生徒のうち吃音に悩む児童生徒は百五十九名おり、いづれも感染による不平等な吃音児童となり、楽しい一生の思い出となる小中校をほかにみながら悩まれている。

体育研究会

市内小、中学校の改訂体育研究会

市内小、中学校の改訂体育研究会は二十五日午前九時から平第五小校で開かれ、新しい体育の在り方について研究する。

日曜稼働を

職安に申入れる

内郷町自由労働者協会の職員が五名から五才までが一種罹患率が多く十才以上になると下降する傾向にある、これら下り児童生徒の罹患原因は統計的からみて感染が八割で最高、その他は病外傷と

草葉の陰で

平市の公営事業

二十四日付の市民新聞に「草葉の陰で」と題して平市の公営事業の現状が掲載された。平市の公営事業は、市民の生活に深く関係している。草葉の陰で、平市の公営事業の現状が掲載された。

学生の手で施工

平工高校の講堂新築工事

平工高等学校では、講堂新築工事（約千三万円、補助金三七七千五百円）の工事が昨年十一月一日から建築委員の手で鉄筋コンクリートの講堂を建設中だ。

新作映画試写会

九時半から平市公会堂日本間に県下の学校及び公民館代表百五十名



教育長賞は

学級一名に贈呈

市内小、中学校の卒業式は、三月二十日と決まった。今年度の卒業生は小学校二千五百九名、中学校八百九十二名、なほ市長及び教育長賞は例年通り学級一名宛贈呈することになった。

神戸牛肉

季節向ソーセイジ

緑屋本店 平市一丁目(電話五三九)

緑屋支店 平市中央通り(電話七九四)

求宅地建物

多数申込有 至急買渡

福島県知事 平宅地建物取引所 許可登録済

平市才路路御茶屋川材木店内電話六六番

渡辺良平洋服店

御手持生地 場原平市二丁目大橋町紅小路

入念仕立歓迎 電話九五七番

竹林病院

医療法人

整形外科 外科 内科 小児科 泌尿科 皮膚科 産科 婦科

院長 竹 林 貞 吉

副院長 中 川 増 郎

医師 山 田 徳 子

医師 山 田 徳 子

医師 山 田 徳 子

医師 山 田 徳 子

玉 半

出前迅速・御二階もどうぞ

電話 二、四〇七番

電話 一、六一一番

たまはん

御商談御会合には

電話 一、六一一番

